

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称	アベイル粒剤
会社	日本曹達株式会社
住所	〒100-7010 東京都千代田区丸の内二丁目 7 番 2 号
担当部門	農業化学品事業部普及部
電話番号	03-4212-9655
FAX 番号	03-4212-9676
緊急連絡先情報	農業化学品事業部普及部
電話番号	03-4212-9655
SDS 作成日	2015 年 12 月 21 日
改訂日	2025 年 09 月 08 日 (06 版)
推奨用途	農薬
使用上の制限	推奨用途以外への使用は禁止する

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

環境に対する有害性	水生環境有害性 短期（急性）	区分 2
	水生環境有害性 長期（慢性）	区分 2

ラベル要素

絵表示（GHS
JP）



危険有害性（GHS JP）： 長期継続的影響によって水生生物に毒性

注意書き（GHS JP）

安全対策： 環境への放出を避けること。

応急措置： 漏出物を回収すること。

廃棄： 内容物/容器を国際/国/都道府県/市町村の規則に従って廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別： 混合物

化学名	濃度 (%)	化学式 (上書き)	官報公示整理番号		CAS 番号
			化審法番号	安衛法番号	
(E)-N1-[(6-クロロ-3-ピリジ ル)メチル]-N2-シアノ-N1-メチルアセ トアミジン	0.25	C10H11Cl N4	(5)-6415	8-(1)-2355	135410-20-7
3-プロモ-1-(3-クロロ-2-ピリ ジル)-4'-シアノ-2'-メチル-6'- (メチルカルバモイル)ピラゾール-5- カルボキシリド	0.5	C19H14Br ClN6O2	適用外(農 薬)	8-(1)-3850	736994-63-1

《その他》

CAS No. 企業秘密のため記載せず。

含有量 残分

化審法 適用外または既存化学物質

安衛法 適用外または既存化学物質

《(E)-N1-[(6-クロロ-3-ピリジル)メチル]-N2-シアノ-N1-メチルアセトアミジン の別名》

アセタミプリド

《3-プロモ-1-(3-クロロ-2-ピリジル)-4'-シアノ-2'-メチル-6'-(メチルカルバモイル)ピラゾール-5-カルボキシリド の別名》

シアントラニリプロール

4. 応急措置

応急措置

- 吸入した場合： 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
気分が悪いときは医師に連絡すること。
- 皮膚に付着した場合： 汚染された衣類を直ちに全て脱ぐこと。
多量の水と石鹸で洗うこと。
皮膚刺激が生じた場合： 医師の診察／手当てを受けること。
- 眼に入った場合： 水で数分間注意深く洗うこと。
コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後
も洗浄を続けること。
眼の刺激が続く場合： 医師の診察／手当てを受けること。
- 飲み込んだ場合： 口をすすぐこと。
医師の診察／手当てを受けること。

医師に対する特別な注意事項

- その他の医学的アドバイスまたは治療： 対症的に治療すること。

5. 火災時の措置

- 適切な消火剤： 水噴霧、乾燥粉末消火剤、泡消火剤、二酸化炭素
- 使ってはならない消火剤： 情報なし。
- 火災危険性： 燃焼によって有毒ガスを生成する。
- 消火方法： 火元への燃焼源を断ち、消火剤を使用して消火する。

管理番号：N0-6151301

周辺火災の場合、速やかに容器を安全な場所に移す。

移動できない場合、容器に放水し、冷却する。

消火を行う者の保護

- ： 自給式呼吸器および防護服を着用する。
- 風上から近づく。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具および緊急時措置

一般的措置

- ： 個人用保護具については、8 項を参照すること。
- 安全なエリアに人員を避難させる。
- 眼、皮膚、衣類につけないこと。
- 粉塵を吸入しないこと。
- 風上から近づく。

環境に対する注意事項

環境に対する注意事項

- ： 排水溝または水路への侵入を防ぐ。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

封じ込め方法

- ： 漏出物を回収すること。
- 流出した物質は吸着剤で回収し、下水溝や水路への侵入を防止する。

二次災害の防止策

- ： 炎や火花の禁止。発火源をすべて断つ。
-

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

- ： 『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。

安全取扱注意事項

- ： 『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。
- 眼、皮膚、衣類につけないこと。
- 粉じんを吸入しないこと。
- 取扱い後はよく手、顔を洗うこと。
- 屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。

接触回避

- ： より詳細な情報については、第 10 項の「安定性と反応性」を参照。

保管

安全な保管条件

- ： 乾燥した場所に保管すること。
- 涼しいところに置き、日光から遮断すること。
- 容器を密閉しておくこと。
- 子供の手の届かないところに置くこと。

安全な容器包装材料

- ： データなし
-

8. ばく露防止及び保護措置

設備対策

- ： 取扱い場所の近くに、シャワー・洗眼器を設置する、作業所の十分な換気を確保する。

保護具

呼吸用保護具	： 防塵マスク、[換気が不十分な場合]呼吸用保護具を着用すること。
手の保護具	： PVC 製保護手袋、ゴム製の保護手袋
眼の保護具	： ゴーグル
皮膚及び身体の保護具	： 長袖を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態	： 固体
形状	： 顆粒
色	： 淡褐色
臭い	： データなし
pH	： 9.7
融点	： データなし
凝固点	： データなし
沸点	： データなし
引火点	： データなし
自然発火点	： データなし
分解温度	： データなし
可燃性	： データなし
蒸気圧	： データなし
相対密度	： データなし
密度	： データなし
相対ガス密度	： データなし
かさ密度	： 1 - 1.1
溶解度	： データなし
n-オクタノール/水分分配係数 (Log Pow)	： データなし
爆発限界 (vol %)	： データなし
動粘性率	： データなし
粒子特性	： データなし

10. 安定性及び反応性

反応性	： 情報なし。
化学的安定性	： 通常の使用条件下では安定。
危険有害反応可能性	： 情報なし。
避けるべき条件	： 直射日光。高温。熱。
混触危険物質	： 情報なし。
危険有害な分解生成物	： 燃焼によって有毒ガスを生成する。

11. 有害性情報

急性毒性（経口）	： 区分に該当しない
----------	------------

管理番号：N0-6151301

急性毒性（経皮）： 区分に該当しない
急性毒性（吸入）： 区分に該当しない(分類対象外)（気体）
区分に該当しない(分類対象外)（蒸気）
分類できない（粉じん、ミスト）

アベイル粒剤	
LD50 経口 ラット	> 2000 mg/kg (♀)
LD50 経皮 ラット	> 2000 mg/kg (♂、♀)

(E)-N1-[(6-クロロ-3-ヒドロキシル)メチル]-N2-シアノ-N1-メチルアセトアミジン (135410-20-7)	
LD50 経口 ラット	217 mg/kg (♂)、146mg/kg(♀)
LD50 経口	198 mg/kg (♀)、184mg/kg (♀) (マウス)
LD50 経皮 ラット	> 2000 mg/kg (♂♀)
LC50 吸入 - ラット	> 0.29 mg/l/4h
LC50 吸入 - ラット (粉じん / ミスト)	> 1.15 mg/l/4h (♂♀)

3-プロモ-1-(3-クロロ-2-ヒドロキシル)-4'-シアノ-2'-メチル-6'-(メチルカルバモイル)ピラゾール-5-カルボキシリド (736994-63-1)	
LD50 経口	5000 mg/kg
LD50 経皮	5000 mg/kg
LC50 吸入 - ラット (粉じん / ミスト)	5.2 mg/l/4h

皮膚腐食性/皮膚刺激性：ウサギ皮膚刺激性なし

アベイル粒剤	
pH	9.7

(E)-N1-[(6-クロロ-3-ヒドロキシル)メチル]-N2-シアノ-N1-メチルアセトアミジン (135410-20-7)	
皮膚腐食性/刺激性	刺激性なし (ウサギ)

3-プロモ-1-(3-クロロ-2-ヒドロキシル)-4'-シアノ-2'-メチル-6'-(メチルカルバモイル)ピラゾール-5-カルボキシリド (736994-63-1)	
皮膚腐食性/刺激性	【分類根拠】(1)より、区分に該当しない。【根拠データ】(1)ウサギ(n=3)を用いた皮膚刺激性試験(GLP、半閉塞、4時間適用、72時間観察)において、全例で皮膚刺激性反応はみられなかった(紅斑・痂皮スコア：0/0/0、浮腫スコア：0/0/0)との報告がある(食安委 農薬評価書(2017)、農薬抄録(2013))。

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性：軽度の刺激性であるが区分外性

アベイル粒剤	
pH	9.7

(E)-N1-[(6-クロロ-3-ヒドロキシル)メチル]-N2-シアノ-N1-メチルアセトアミジン (135410-20-7)	
眼に対する重篤な損傷性/刺激性	刺激性なし (ウサギ)

3-プロモ-1-(3-クロロ-2-ピリジル)-4'-シアノ-2'-メチル-6'-(メチルカルバモイル)ピラゾール-5-カルボキシリド (736994-63-1)	
眼に対する重篤な損傷性/刺激性	【分類根拠】 (1) より、区分に該当しない。【根拠データ】 (1) ウサギ (n=3) を用いた眼刺激性試験 (GLP、72 時間観察) において、1 時間後に全例で結膜発赤及び分泌物がみられたが、24 時間後には消失した (角膜混濁スコア：0/0/0、虹彩炎スコア：0/0/0、結膜発赤スコア：0/0/0、結膜浮腫スコア：0/0/0) との報告がある (食安委 農薬評価書 (2017)、農薬抄録 (2013))。

呼吸器感作性：分類できない
皮膚感作性：モルモットにおいて皮膚感作を起こさない。

(E)-N1-[(6-クロロ-3-ピリジル)メチル]-N2-シアノ-N1-メチルアセトアミジン (135410-20-7)	
皮膚感作性	感作性なし (モルモット)

3-プロモ-1-(3-クロロ-2-ピリジル)-4'-シアノ-2'-メチル-6'-(メチルカルバモイル)ピラゾール-5-カルボキシリド (736994-63-1)	
呼吸器感作性	【分類根拠】 データ不足のため分類できない。
皮膚感作性	【分類根拠】 (1) より、区分に該当しない。【根拠データ】 (1) モルモット (n=20) を用いた Maximisation 試験 (GLP、皮内投与：5%溶液) において、惹起貼付除去 24、48 時間後の陽性率はともに 0% (0/20 例) であったとの報告がある (食安委 農薬評価書 (2017)、農薬抄録 (2013))。

生殖細胞変異原性：分類できない

(E)-N1-[(6-クロロ-3-ピリジル)メチル]-N2-シアノ-N1-メチルアセトアミジン (135410-20-7)	
生殖細胞変異原性	Ames 試験：陰性、染色体異常試験：陽性、小核試験：陰性 (マウス)、UDS 試験：陰性、Rec-Assay：陰性

3-プロモ-1-(3-クロロ-2-ピリジル)-4'-シアノ-2'-メチル-6'-(メチルカルバモイル)ピラゾール-5-カルボキシリド (736994-63-1)	
生殖細胞変異原性	【分類根拠】 (1) ～ (5) より、区分に該当しない。【根拠データ】 (1) In vivo では、マウスの骨髄細胞を用いた小核試験 (GLP) において、陰性との報告がある (食安委 農薬評価書 (2017)、農薬抄録 (2013))。 (2) 細菌復帰突然変異試験において、陰性との報告がある (食安委 農薬評価書 (2017)、農薬抄録 (2013))。 (3) ヒトリンパ球を用いた染色体異常試験において、陰性との報告がある (食安委 農薬評価書 (2017)、農薬抄録 (2013))。 (4) チャイニーズハムスター卵巣由来細胞 (CHO) を用いた遺伝子突然変異試験において、陰性との報告がある (食安委 農薬評価書 (2017))。 (5) In vivo 及び in vitro 試験結果より、本物質は遺伝毒性 (または変異原性) を有しないと考えられている (JMPR (2013)、EFSA (2014)、Federal Register Vol. 83, No. 219 (2018))。

発がん性：分類できない

(E)-N1-[(6-クロロ-3-ピリジル)メチル]-N2-シアノ-N1-メチルアセトアミジン (135410-20-7)	
発がん性	陰性 (ラット、マウス)

3-ブ^oモ-1-(3-クロ-2-ピ^oリシ^oル)-4'-シアノ-2'-メチル-6'-(メチルカルハ^oモイル)ピ^oラゾ^o-ル-5-カルボ^oキサニリト^o (736994-63-1)

発がん性

【分類根拠】(1)～(5)より、区分に該当しない。【根拠データ】
(1)国内外の分類機関による既存分類としては、EPAでNL(Not Likely to be Carcinogenic to Humans)に分類されている(EPA Annual Cancer Report 2018 (Accessed Sep. 2020): 2013年分類)。(2)ラットを用いた2年間混餌投与による慢性毒性/発がん性併合試験(OECD TG 451、GLP)において、全身影響のみられる最高用量まで発がん性の証拠は認められなかった(食安委 農薬評価書(2017)、農薬抄録(2013)、JMPR Report(2013))。(3)マウスを用いた18ヵ月間混餌投与による発がん性試験(OECD TG 453、GLP)において、全身影響のみられる最高用量まで発がん性の証拠は認められなかった(食安委 農薬評価書(2017)、農薬抄録(2013)、JMPR Report(2013))。(4)ラット及びマウスの発がん性試験で腫瘍発生頻度の増加がみられないこと、及び変異原性の懸念がないことに基づき、本物質は「NL(Not Likely to be Carcinogenic to Humans)」に分類されている(Federal Register Vol. 83, No. 219 (2018))。(5)ラット及びマウスの試験結果では、腫瘍発生増加の証拠はない(EFSA (2014))。

生殖毒性

： 分類できない

(E)-N1-[(6-クロ-3-ピ^oリシ^oル)メチル]-N2-シアノ-N1-メチルアセトアミジン (135410-20-7)

生殖毒性

繁殖毒性：陰性(ラット)、催奇形性：陰性(ラット、ウサギ)

3-ブ^oモ-1-(3-クロ-2-ピ^oリシ^oル)-4'-シアノ-2'-メチル-6'-(メチルカルハ^oモイル)ピ^oラゾ^o-ル-5-カルボ^oキサニリト^o (736994-63-1)

生殖毒性

【分類根拠】(1)～(3)より、区分に該当しない。【根拠データ】
(1)ラットを用いた混餌投与による二世代生殖毒性試験(GLP)において、親動物に体重増加抑制、胸腺・甲状腺・肝臓等の臓器重量及び/又は組織変化がみられる用量で、児動物にも体重増加抑制、胸腺・脾臓の重量減少等がみられたが、繁殖能に対する影響は認められなかったとの報告がある(食安委 農薬評価書(2017)、農薬抄録(2017)、JMPR(2013))。
(2)ラットを用いた強制経口投与による発生毒性試験(GLP、妊娠6～20日)において、催奇形性は認められなかったとの報告がある(食安委 農薬評価書(2017)、農薬抄録(2017)、JMPR(2013))。(3)ウサギを用いた強制経口投与による発生毒性試験(GLP、妊娠7～28日)において、250 mg/kg/dayで親動物に体重増加抑制、摂餌量減少、流産、早産、下痢、排便及び糞量減少がみられたが、児動物には低体重のみがみられた。なお、催奇形性は認められなかったとの報告がある(食安委 農薬評価書(2017)、農薬抄録(2017)、JMPR(2013))。【参考データ等】(4)本物質はラット、ウサギに発生影響を生じず、ラットの二世代繁殖試験において、本物質は繁殖パラメータへの有害影響を生じないことが示されている(US Federal Register(2018))。(5)ラットの多世代試験で繁殖能のパラメータへの有害影響はみられず、ラットとウサギを用いた発生毒性試験では催奇形性影響は認められなかった(EFSA(2014))。

特定標的臓器毒性(単回ばく露)

： 分類できない

3-ブ ^o モ-1-(3-クロロ-2-ピ ^o リシ ^o ル)-4'-シアノ-2'-メチル-6'-(メチルカルバ ^o モイル)ピ ^o ラゾ ^o ール-5-カルボ ^o キサニリト ^o (736994-63-1)	
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	【分類根拠】(1)～(5)より、区分に該当しない。【根拠データ】 (1) ラット(雌)を用いた単回経口投与試験(GLP)において、5,000 mg/kg(区分に該当しない範囲)で死亡例はなく、症状発現はみられなかったとの報告がある(食安委 農薬評価書(2017)、農薬抄録(2013))。 (2) マウス(雌)を用いた単回経口投与試験において、5,000 mg/kg(区分に該当しない範囲)で死亡例はなく、症状発現はみられなかったとの報告がある(食安委 農薬評価書(2017))。 (3) ラットを用いた単回経口投与による急性神経毒性試験(GLP)において、2,000 mg/kg/day(区分2の範囲)で神経毒性はみられなかったとの報告がある(食安委 農薬評価書(2017)、農薬抄録(2013)、EFSA(2013))。 (4) ラットを用いた単回経皮投与試験(GLP)において、5,000 mg/kg(区分に該当しない範囲)で死亡例はなく、症状発現はみられなかったとの報告がある(食安委 農薬評価書(2017)、農薬抄録(2013))。 (5) ラットを用いた単回吸入(粉塵)ばく露試験(4時間、GLP)において、5.2 mg/L(区分に該当しない範囲)で死亡例はなく、ばく露直後の雄2匹及び雌3匹に部分閉眼(1日後に消失)がみられたとの報告がある(食安委 農薬評価書(2017)、農薬抄録(2013))。

特定標的臓器毒性(反復ばく露) : 分類できない

(E)-N1-[(6-クロロ-3-ピ ^o リシ ^o ル)メチル]-N2-シアノ-N1-メチルアセトアミジン (135410-20-7)	
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	慢性毒性試験：NOAEL(イヌ、飼料混入投与)：20 mg/kg bw/day(♂)、21 mg/kg bw/day(♀)(1年)、NOAEL(ラット、飼料混入投与)：7.1 mg/kg bw/day(♂)、8.8 mg/kg bw/day(♀)(2年)

誤えん有害性 : 分類できない

3-ブ ^o モ-1-(3-クロロ-2-ピ ^o リシ ^o ル)-4'-シアノ-2'-メチル-6'-(メチルカルバ ^o モイル)ピ ^o ラゾ ^o ール-5-カルボ ^o キサニリト ^o (736994-63-1)	
誤えん有害性	【分類根拠】データ不足のため分類できない。

12. 環境影響情報

生態毒性

水生環境有害性 短期(急性) : 水生生物に毒性
水生環境有害性 長期(慢性) : 長期継続的影響によって水生生物に毒性

(E)-N1-[(6-クロロ-3-ピ ^o リシ ^o ル)メチル]-N2-シアノ-N1-メチルアセトアミジン (135410-20-7)	
LC50 - 魚 [1]	> 100 mg/l (ニジマス、96hr)
LC50 - 魚 [2]	> 100 mg/l (コイ、96hr)
EC50 - 甲殻類 [1]	49.8 mg/l (ミジンコ、48hr)
ErC50 藻類	> 98.3 mg/l (72hr)

3-ブ ^o モ-1-(3-クロロ-2-ピ ^o リシ ^o ル)-4'-シアノ-2'-メチル-6'-(メチルカルバ ^o モイル)ピ ^o ラゾ ^o ール-5-カルボ ^o キサニリト ^o (736994-63-1)	
EC50 - 甲殻類 [1]	0.01827 mg/l

残留性・分解性

アベイル粒剤	
残留性・分解性	データなし
(E)-N1-[(6-クロロ-3-ピリジル)メチル]-N2-シアノ-N1-メチルアセトアミジン (135410-20-7)	
BOD (ThOD の割合)	分解率 (BOD) : 1.3% (4 週間)

生体蓄積性

アベイル粒剤	
生体蓄積性	データなし
(E)-N1-[(6-クロロ-3-ピリジル)メチル]-N2-シアノ-N1-メチルアセトアミジン (135410-20-7)	
n-オクタノール/水分配係数 (Log Pow)	0.80 (25℃)
3-ブロモ-1-(3-クロロ-2-ピリジル)-4'-シアノ-2'-メチル-6'-(メチルカルバモイル)ピラゾール-5-カルボキシルリド (736994-63-1)	
n-オクタノール/水分配係数 (Log Pow)	1.94 (22℃)

土壌中の移動性

アベイル粒剤	
土壌中の移動性	データなし
(E)-N1-[(6-クロロ-3-ピリジル)メチル]-N2-シアノ-N1-メチルアセトアミジン (135410-20-7)	
n-オクタノール/水分配係数 (Log Pow)	0.80 (25℃)
3-ブロモ-1-(3-クロロ-2-ピリジル)-4'-シアノ-2'-メチル-6'-(メチルカルバモイル)ピラゾール-5-カルボキシルリド (736994-63-1)	
n-オクタノール/水分配係数 (Log Pow)	1.94 (22℃)

オゾン層への有害性

オゾン層への有害性	: 分類できない
オゾン層への影響	: モントリオール議定書に指定された物質を含有しない。
その他の有害な影響	: 追加情報なし

13. 廃棄上の注意

推奨製品/梱包処分	: 固体廃棄物については適用法令を遵守する。 管轄当局の規制に準拠して廃棄する。
廃棄方法	: 内容物/容器を国際/国/都道府県/市町村の規則に従って廃棄すること。 認可を受けた産業廃棄物処理場にて処分する。
残余廃棄物	: 内容物/容器を国際/国/都道府県/市町村の規則に従って廃棄すること。 認可を受けた産業廃棄物処理場にて処分する。

汚染容器及び包装	： 容器の内容物を完全に除去してから廃棄する。 内容物/容器を国際/国/都道府県/市町村の規則に従って廃棄すること。
地域の廃棄規則	： 管轄当局の規制に準拠して廃棄する。
推奨下水処理	： 管轄当局の規制に準拠して廃棄する。
追加情報	： 空の容器を再利用しない。

14. 輸送上の注意

国際規制

海上規制情報	： IMO の規定に従う。
航空規制情報	： ICAO/IATA の規定に従う。
国連番号	： 3077
正式輸送品名	： 環境有害物質（固体）（3-ブ ^o ロモ-1-(3-クロロ-2-ヒ ^o リジ ^o ル)-4'-シアノ-2'-メチル-6'-(メチルカルバモイル)ヒ ^o ラゾ ^o ール-5-カルボ ^o キサニト ^o ）
容器等級	： III
輸送危険物分類	： 9
国連分類	： 9
海洋汚染物質	：



適用される

国内規制

海上規制情報	： 船舶安全法の規定に従う。
航空規制情報	： 航空法の規定に従う。
特別な輸送上の注意	： 製品は慎重に取り扱う。 飛散を避ける。 衝撃／衝突を避ける。 直射日光を避けて保管する。 水(湿った空気)との接触を避ける。
その他の情報	： 補足情報なし。
緊急時応急措置指針番号	： 171

15. 適用法令

国内法令

労働安全衛生法	： 非該当
毒物及び劇物取締法	： 非該当
消防法	： 非該当
船舶安全法	： 有害性物質（危規則第 2， 3 条危険物告示別表第 1）
航空法	： その他の有害物件（施行規則第 194 条危険物告示別表第 1）
化学物質排出把握管理促進法 (PRTR 法)	： 非該当
農薬取締法	： 該当

16. その他の情報

記載内容は現時点で入手できた資料、情報データに基づいて作成していますが、含有量、物理化学的性質、危険・有害性等に関しては、いかなる保証をなすものではありません。又、注意事項は通常の取扱いを対象としたものなので、特殊な取扱いの場合には用途・用法に適した安全対策を実施の上、利用してください。

中毒したときの緊急連絡先

公益財団法人 日本中毒情報センター（事故に伴い急性中毒の恐れがある場合に限る）

中毒 110 番 365 日 24 時間対応

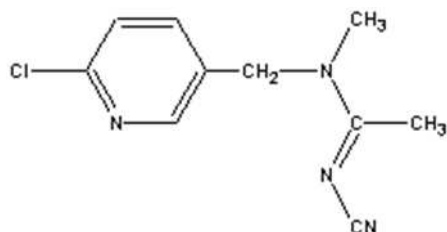
一般市民専用電話（情報料無料）

（大 阪） 072-727-2499 （つくば） 029-852-9999

医療機関専用有料電話（1 件 2000 円）

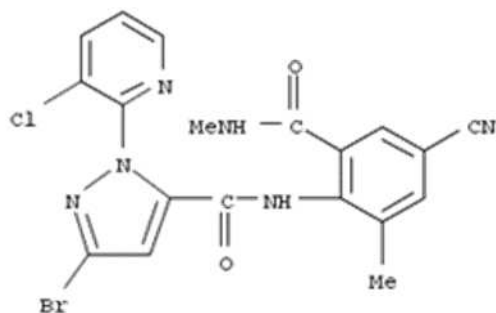
（大 阪） 072-726-9923 （つくば） 029-851-9999

医療機関の方が一般市民専用電話を使用した場合も、
情報料 1 件につき 2,000 円を徴収します。



CAS 番号： 135410-20-7

化学名： (E)-N1-[(6-クロロ-3-ピリジル)メチル]-N2-シアノ-N1-メチルアセトアミン



CAS 番号： 736994-63-1

化学名： 3-ブロモ-1-[(3-クロロ-2-ピリジル)-4'-シアノ-2'-メチル-6'-(メチルカルバモイル)ピラゾール-5-カルボキシル]